

## ～ 商学連携による商店街にぎわい創出事業 ～

商店街マスコットキャラクター「びっきい」にちなんだ「びっきい市」を2回開催。それぞれに同時開催として金沢美術工芸大学と連携したプロジェクトマッピング「懐かしの映像」の上映、子供向けイベント「こびっきい誕生祭」を実施し、商店街の周知と利用度向上を目指した。

所在地：石川県金沢市石引1-15-28  
 TEL：076-221-2574 FAX：076-223-6621  
 URL：<http://isibikisyouten.sakura.ne.jp>  
 組合員数：54名  
 商店街の類型：近隣型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

石引商店街はJR金沢駅から南東へ約3.5km、金沢城築城の際、戸室山から切り出した石を運んだことが地名の由来となった石引にあり、県道湯涌線の約300mの両側に物販、飲食、サービス等地域の暮らしに密着した40数店舗が並ぶ。生鮮3品を扱っていた地元スーパーが平成16年に閉店したことに加え、隣接する金沢大学医学部付属病院のサービス施設の充実に伴い顧客が減少してきていることから、地域の人々に商店街を知っていただき、来街を促すためのイベントを開催した。



## 実施した事業の概要

近隣農家の野菜直売、金沢美術工芸大学学生の作品コーナー、フリーマーケット・飲食等の出店による「びっきい市」を2回開催した。「びっきい」とは、平成19年に金沢美術工芸大学と共同で公募し誕生したマスコットキャラクターで、小さい子供を中心にかなりの人気を得ていることから、商店街の知名度向上のため事業名に冠した。各回には以下のイベントを同時開催し集客につなげた。

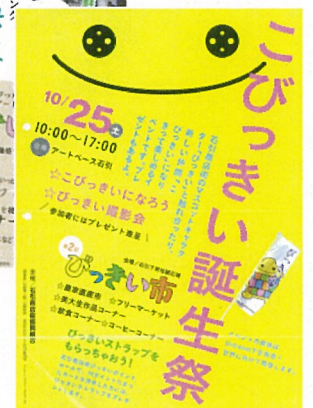
## ①「懐かしの映像」上映会

当商店街内には金沢美術工芸大学のギャラリーが設けられていることもあり、学生たちとは日頃から交流が盛んである。そこで今回、青年部と金沢美術工芸大学の学生が中心となって、「笑顔・集い・祭」をテーマにした写真150枚を選び映像作品を作成、ギャラリーにて上映した。商店街の店主やおかみさんの写真を入れ、「この人だ〜れ?」クイズを実施したことで、参加者は答えとなる人物を探しながら商店街を回遊、商店街を知ってもらうきっかけとなった。さらに、正解者には商店街で使える商品券等を進呈し、再来街も促した。



## ②こびっきい誕生祭

子供用の着ぐるみ「こびっきい」を製作し「こびっきい誕生祭」を開催した。子供連れの家族が多く訪れ、こびっきいの着ぐるみを着用したり、びっきいと一緒に写真撮影をしたりして楽しんだ。この模様をUstreamを使って広く情報発信したことで、商店街の存在感を強くアピールすることができた。



## 成果と成功の要因

今回の事業を通して、近隣住民との交流が深まり商店街に対する認識や信頼度が向上した。特に子ども達が通園・通学時に声をかけてくれるようになったことでモチベーションアップにつながっている。

事業の成功の要因としては、金沢美術工芸大と連携したことにより商店街が若者のニーズに対応できたことがあげられる。学生たちとは現在も交流が続いており、学生のイベントがしばしば商店街内で行われにぎわいにつながっている。

さらに、事業後、新潟市からの依頼を受け「大学と商店街の連携によるまちなか活性化に係る事例研究」の研究対象事例として報告を行った。これにより当商店街の活動が広く認知されたものと思われる。

## 今後の取り組み

「びっきい市」は、出店者から引続き参加したいとの積極的な申し出があり、地元住民にも好評を博したことから、さらに充実を図り継続する予定である。金沢美術工芸大学との連携については、大学においても「アートとデザインで街を活性化する」、「地域連携」の一環として位置づけられており、今後も継続してさらなる活性化につなげる。また、商店街キャラクター「びっきい」は人気があるため、今後も様々なイベントにおいて商店街のPRに活用していく。「ぶらり石引」のキャッチコピーのもと地域と共に発展することを目指す。資金については、駐車場収入と参加者からの参加費や協賛金などで確保する予定である。